

# 三重県立熊野古道センターからのてがみ

"The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

## 2015.春号

通号 No.34



# 熊野古道を彩るサクラ

3月から4月は熊野古道が最も華やかに彩られる季節です。ゲンゲやタンポポなどの野の花や、赤や紫の花をつけるツツジなど、春は色とりどりの花が咲き、歩く人の目を楽しませてくれます。中でも最も華やかに春の熊野古道を演出してくれるのはサクラではないでしょうか。



紀伊半島南東の沿岸近くを通る熊野古道伊勢路は、沖合を黒潮が流れるため温暖で春の訪れが早く、3月初旬には早くもサクラが開花します。他のサクラに比べて濃い紅色の花びらをつけ、下向きに花を咲かせ

彼岸前後から4月初めにかけては、お花見の主役として知られるソメイヨシノや、桜餅を包む大きな葉をつけるオオシマザクラが見頃を迎えます。淡い紅色の花を咲かせるソメイヨシノ、大きくて見ごたえのある白花のオオシマザクラが咲く頃、熊野古道沿いには最も華やかになります。これらは紀北町の始神峠登り口「さくら広場」や尾鷲市の馬越峠登り口「馬越公園」にたくさん植えられているため、いっせいに群れ咲く様は見事です。このようにまとまって咲くサクラの他、ひときわ存在感があるのが野生種のヤマザクラです。伊勢路周辺の山林はスギやヒノキの人工林が多いため、季節の変化が小さく、一年を通して色彩が単調です。その中で、点々と山腹を桃色に彩るヤマザクラは情緒があり、伊勢路独特の景観を醸し出してくれます。

このように色々なサクラを觀賞しながら散策できるのが、春の熊野古道の魅力のひとつです。暖かくなる春、友達同士や家族皆さんで熊野古道に出かけてみてはいかがでしょうか。

私は熊野市紀和町で生まれ、丸山千枚田や熊野古道の通り峠がすぐ近くにある環境で育ちました。熊野古道はまだ世界遺産に登録されていなかった子どものころ、家の近くにある古道を走り回っていたことを思い出します。

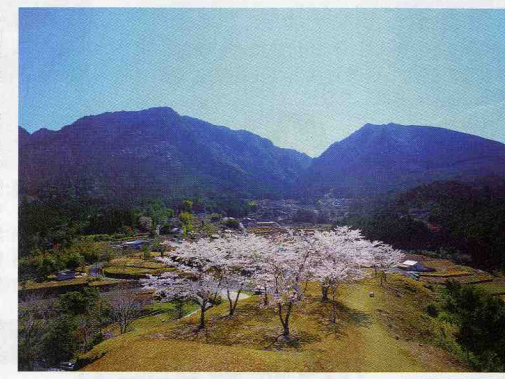
3年前に、熊野市でカメラ教室のツアーがあり、仕事の関係で参加しました。私はそれまで、一眼レフ等の本格的なカメラは持ってなくて、経験も全くありませんでした。しかし、そこで出会った先生にカメラの面白さを教えてもらい、今ではすっかりカメラを手放せない生活になっています。そして、その教室で仲間もできました。

カメラ仲間は10人。そのうち三重県外の人が半数います。県外の仲間は、熊野をとても気に入ってくれていて、年に数回は訪れてくれます。その際には、私や地元仲間が熊野を案内し一緒に写真を撮っています。これまで車で通り過ぎていた丸山千枚田や赤木城跡、案内看板を見るだけで登ることのなかった熊野古道。フラインダーを通して見てみると、とても素敵に見えるのです。仲間が撮った写真も、それぞれ

熊野古道センター  
-27.3.15  
KODO CENTER

熊野古道からのてがみ

34 通目



赤木城跡 (熊野市)

の視点で風景が切り取られていて新たな発見もあります。

私は、近すぎて気づかなかった熊野の魅力、仲間との出会いをきっかけに感じる事ができました。これからも新しい発見を探しながら熊野を楽しもうと思います。



新谷 早苗さん  
(熊野市)  
熊野市役所職員  
en finder.所属

筆リレー  
次は京都府宇治市の黒川 雅代さん

## 花尻 薫からの季節のたより No.34

## シロバナタンポポ キク科

タンポポと言えば花の色は黄色だと思いますが、シロバナも有ります。

日本列島の西に行くほど多く、四国地方では大部分がシロバナタンポポで、道端や空き地に多く見られる多年草(冬期地上部が枯れても春に芽を出す草や木)です。タンポポの仲間でも花の白いはこの種類だけで、葉は広く花の茎は約30cmにもなります。かつては尾鷲市の賀田町や三木里町でも見られましたが、現在では外来種(外国から来た種類)のセイヨウタンポポに追われて生育する場所が、制限され少なくなりつつあります。熊野市内の井戸町の向陽の道端にも見られましたが、近年は殆ど姿を消しました。

タンポポという名の「タン」は鼓(つづみ)の音、「ポポ」はその共鳴で、幼児語であったと民俗学者の柳田国男氏は「野草雑記」

(1940年)に記録しています。古名では藤菜、別名は鼓草(つみくさ)と書きます。

日本列島に生息するタンポポの仲間は「エゾタンポポ」「カントウタンポポ」「トウカイタンポポ」「カンサイタンポポ」など産地の地名が多くつけられています。先述のセイヨウタンポポは繁殖力が強く、明治時代の中頃、北海道には多く見られたと記録されています。特に花の時期が長く、種を多数つけ、悪い環境にも抵抗力があり、広範囲に広がるのが特徴です。



シロバナタンポポ

### センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

**お母ちゃんのランチバイキング**  
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00  
料 金: 中学生以上...1,200円  
小学生以上...700円  
4歳~小学生未満...300円  
乳幼児...無料  
60歳以上...1,000円

### みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もホカホカです。

開館時間: 10:00~21:00  
入 浴 料: 一般...600円  
65歳以上...500円  
4歳~小学生未満...300円  
4歳未満...無料



### お風呂あがり、カフェでゆったり

営業時間: 9:00~17:00  
(カフェラストオーダー 16:30)



●お車で越しの方は...  
尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがいる交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着。(尾鷲北ICから約10分)

●電車でお越しの方は...  
JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車  
■松阪駅  
→南紀特急バス「熊野古道センター」行 終点下車(約2時間)

### ★熊野古道センターニュースレター★ “熊野古道センターからのてがみ 2015年春号”

●発行日:2015年3月15日(季刊)  
●編集・発行:三重県立熊野古道センター  
(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)  
●編集担当:堀内  
●連絡先:  
〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4  
TEL 0597-25-2666  
FAX 0597-25-2667  
Mail info@kumanokodocenter.com  
HP http://www.kumanokodocenter.com/  
●開館時間:午前9時~午後5時  
●入場料:無料  
●休館日:12月31日、1月1日  
(その他メンテナンス時休館)  
60000150315SH

イベント情報  
**Event Info.**

**企画展 1**  
熊野古道世界遺産登録10周年記念  
**「世界遺産図展」**  
スケッチとCGで世界遺産を描く画家・松田光一氏の絵画展を開催します。古くから守り続けられている世界遺産の大切さ、美しさを感じてください。

会 期:3月7日(土)~4月5日(日)  
午前9時~午後5時 \*会期中無休  
入場料:無料  
場 所:企画展示室



紀伊山地の霊場と参詣道 獅子岩

**ギャラリートーク**  
作者の松田光一氏による作品解説を開催します。

日時:3月7日(土) 午後1時30分~2時30分  
参加料:無料  
定 員:30名程(申込不要・先着順)  
場 所:企画展示室  
講 師:松田光一氏(画家)

**スケッチ教室**  
日時:3月8日(日) 午後1時30分~3時30分  
参加料:300円  
定 員:15名(要申込・先着順)  
場 所:体験学習室  
講 師:松田光一氏(画家)

マジック1本で、どんな場所でも楽しめる松田光一流のスケッチを体験していただきます。

その他  
**Guide&Tips 熊野古道フォトコンテスト結果発表**

8年目となった熊野古道フォトコンテスト。今年も多くの方にご応募いただき、ありがとうございました。

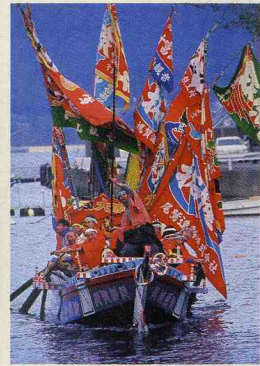
**とっておき部門**

**●最優秀賞** 関口松男さん(尾鷲市)  
「朝霧」(撮影場所:紀北町馬越峠林道)

**●優秀賞 熊野古道センター賞**  
塩崎保夫さん(尾鷲市)  
「古の道」(撮影場所:御浜町・風伝峠)

**●優秀賞 東紀州地域振興公社賞**  
海上克美さん(紀北町)  
「海の男祭り」(撮影場所:尾鷲市梶賀町)

**他、入選7名**  
\*詳しくは熊野古道センターHPでご確認いただけます。



和歌山県  
**世界遺産センター**  
からのお知らせ

和歌山県世界遺産センターとインド共和国マハラシュトラ州アジェンタビジターセンターとの提携及び交流に関する協定(平成26年6月24日締結)に基づき、センター間の連携及び交流の一環として、2月2日から当センター内にマハラシュトラ州のアジェンタ石窟群・エローラ石窟群を紹介するパネル展示(常設)を行っています。

今年度、当センターが行う参詣道保全活動(道普請)に参加された方が2,100名(1月現在)を越え、平成19年以来の参加人数も1万1千人に達しました。参詣道保全活動は継続した取り組みが大変重要になります。皆様のご参加をお待ちしております。

また、当センターでは、世界遺産の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう、世界遺産セミナー(年間4回)を開催しています。来年度は、下記の日程で行いますので、世界遺産に興味・関心のある方のご参加をお待ちしています(参加費は無料です)。

**平成27年度 世界遺産セミナー(予定)**

第1回	第2回	第3回	第4回
平成27年 6/14(日) 13:00~15:00	平成27年 7/26(日) 13:00~15:00	平成27年 9/13(日) 13:00~15:00	平成28年 1/24(日) 13:00~15:00
内容:紀伊路、腰白坂について 場所:海南市海南保健福祉センター	内容:高野山開創1200年と中門再建について 場所:櫻池院別館成慶院(伊都郡高野町高野山)	内容:北部、潮見峠について 場所:田辺市大塚公民館	内容:熊野三山、本願寺の遺跡について 場所:世界遺産 熊野本宮(田辺市本宮町)

**「道普請」とは**  
文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・御溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの方々に参加していただいています。

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは  
**和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044** までお願いいたします。  
住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

**企画展 2**  
**「クマノのArtists 2015~熊野の誘い~」**  
熊野のアーティストを毎年シリーズで紹介。第1回は、ダイナミックな人物像と熊野との融合を追求する新谷武文氏の世界観あふれる独創的な油絵、熊野灘で釣り上げた魚でリアルさと美しさを表現する山本貴也氏のアート魚拓、使い心地を一番に考える家具職人、竹内健悟氏のシンプルで温かみのある家具や小物作品を展示します。

**制作実演「アート魚拓」**  
日時:4月12日(日) 午前10時30分~12時  
入場料:無料  
場 所:企画展示室  
講 師:山本貴也氏(アート魚拓師)

**ギャラリートーク**  
日時:4月12日(日) 午後1時30分~2時30分  
参加料:無料  
場 所:企画展示室  
講 師:新谷武文氏(三重県立紀南高校美術教師)

**ワークショップ「ヒノキのスツール作り」**  
日時:4月19日(日) 午後1時30分~3時  
参加料:2,500円  
定 員:15名(要申込) \*応募者多数の場合は抽選になります。  
場 所:体験学習室  
講 師:竹内健悟氏(家具職人)

会 期:4月11日(土)~5月10日(日)  
午前9時~午後5時 \*会期中無休  
入場料:無料  
場 所:企画展示室

**特別展**  
**「油彩で熊野古道を描く参加者作品展」**  
講師に伊藤清和氏をお迎えし、年間4回にわたり開催した「油彩で熊野古道を描く」の成果発表として、参加者と講師が制作した熊野古道(馬越峠、八鬼山)の風景作品を展示します。

会 期:3月29日(日)~4月26日(日)  
午前10時~午後3時 \*会期中無休  
入場料:無料  
場 所:特別展示室



**特別展**  
**「伊賀の組紐 中内 中作品展」(仮)**  
伊賀組紐の伝統技術を継承しつつも独自の感性で組紐の新たな可能性を求め、新しい「ものづくり」に取り組んでいる中内中氏(中内組紐工房3代目)の作品展を開催します。中内家代々から受け継がれてきた作品をはじめ、「組み」独特の風合いをもつタペストリーやオブジェなどを展示します。

会 期:5月9日(土)~6月21日(日)  
午前10時~午後3時 \*会期中無休  
入場料:無料  
場 所:特別展示室

**ワークショップ「組紐づくり」**  
日時:5月9日(土) 午後1時~3時30分  
参加料:1,800円  
定 員:15名(要申込・先着順)  
場 所:体験学習室

**交流イベント**  
**「油彩で熊野古道を描く」**  
油彩で熊野古道を描く講座を開催します。年間4回の連続講座で、道具の取り扱いの基礎部分から、制作ポイントなど丁寧に教えていただきます。この講座をとおして熊野古道や古道周辺の作品を2作品制作します。これから油彩を始める方も大歓迎。興味のある方は是非ご参加ください。

期間:午前10時~午後3時  
参加料:2,000円/年間(保険料含む) \*材料費別  
定 員:15名(要申込・先着順)  
対 象:中学生以上  
場 所:体験学習室および熊野古道とその周辺  
講 師:伊藤清和氏(独立美術協会会員、アトリエトウ主宰)  
講師アシスタント...大西奈奈氏(三重県紀北地域活性化局 文化専門振興員)  
受 付:5月1日(金)~5月31日(日)



**講座・講演**  
**3/21(土・祝) 講座「熊野比丘尼が絵解く曼荼羅図」**  
「那智参詣曼荼羅図」と「熊野観心十界図」2枚の曼荼羅図を絵解き実演します。

時間:午前11時~12時、午後1時~2時  
参加料:無料  
場 所:展示棟ロビー  
実 演:新宮市観光ガイドの会会員

**4/11(土) 連続講座「はじめての古文書」**  
古文書の基礎的な知識習得を目指す入門講座です。尾鷲古文書を中心に、地域の歴史や文化に触れながら、1年間楽しく学びましょう。

時間:午後1時~3時  
参加料:1,000円/年間(資料代含む)  
定 員:20名(要申込・先着順)  
場 所:図書資料室  
講 師:尾鷲古文書の会会員

開 催 日:平成27年4月~平成28年3月までの毎月1回(全12回)

\*第2回目以降の日程については、HPをご覧ください。

**新しい古道の歩き方**  
**5/2(土) 「もう一つの熊野古道~筏師の道」** 雨天の場合は5/3(日)に延期  
紀宝町木津呂から川治いの新緑を楽しみながら漕ぎ進むウォーキングツアーです。

時間:午前9時~午後3時  
定 員:15名(要申込・先着順)  
場 所:紀宝町木津呂  
ガイド:植野めぐみ氏(フリーランスライター)  
受 付:4月2日(木)~4月30日(木)

**体験学習**  
**4/18(土) 県民の日「尾鷲ヒノキのコースター作り」**  
尾鷲ヒノキを使った「組み木」の体験です。止め金具や接着剤などを一切使わずにヒノキ製のコースターを完成させます。とても簡単で、小さなお子さんにもお気軽に楽しんでいただけます。

時間:午後1時~3時受付  
参加料:100円  
定 員:30名(申込不要・先着順)  
場 所:展示棟ロビー  
講 師:熊野古道センター職員

**5/16(土) 熊野古道自然学校「磯の生きもの観察会」**  
熊野灘沿岸の浜辺で見られる生物について学ぶ観察会です。普段は海の中にいる生きものを、実際に見て触って調べてみよう。

時間:午前9時~11時  
参加料:300円(保険料、資料代含む) 雨天の場合は5/31(日)に延期  
定 員:20名(要申込・先着順)  
場 所:紀北町船越海岸  
講 師:栗藤和治氏(日本自然保護協会自然観察指導員)  
受 付:4月16日(木)~5月10日(日)

**6/20(土) 熊野古道自然学校 「熊野古道の植物を学ぶ~第1回樹木編~」**  
熊野古道に自生する植物について総合的に学ぶ講座です。第1回目の樹木編では、熊野古道大吹峠を歩きながら、木本類の分類や生理・生態を学びます。

時間:午前10時~12時  
参加料:300円(保険料、資料代含む)  
定 員:20名(要申込・先着順)  
場 所:熊野古道大吹峠  
講 師:熊野古道センター職員  
受 付:5月20日(水)~6月14日(日)  
雨天の場合は6/21(日)に延期

**毎週日曜日 あなたも木工作家! その場でできる木工教室**  
事前申込不要!!来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。

時間:午後1時~3時受付  
参加料:200円/1,500円(申込不要)  
場 所:交流棟ロビー  
講 師:ひのきアート空楽風会員、川端一氏、大形弥生氏(週替わり)